

No. 839

緑と土の生活を

近代産業の発展で、都市化が進み、人間生活は物質文明の恩恵に浴している。だが、その一方家庭生活に自然のうるおいをとり入れ様とする人々も多く、庭石や盆栽が大きなブームを呼んでいる。

しかし、天然石は高価で、また重量もあり、一般庶民には高嶺の花、そんなところから質色も天然石にぜんぜん変らぬ人工石が開発され、小住宅の庭園や室内のそうしょくに大いに利用されています。また、アパートのベランダには盆栽の鉢がズラリ、こんな光景が最近多くみられます。しかし栄養不足や枯れる寸前なのが大半。そのような盆栽を一手に引き受けて、はんじょうしているのが名古屋の盆栽病院。

手術室から入院室まで、いたれり、つくせりのサービスにつとめています。

白球に挑む

—キャンプめぐり（その一）—

プロ野球キャンプは各球団とも温暖地を求めて移動、愈々ミシゴキミの本番となりました。

人気 No. 1 近鉄の太田は延岡へ。ドラフト No. 1 中日の谷沢は明石で一年目のスタートをきりました。

西城 3 度目の王座防衛

プロボクシング世界フェザー級タイトルマッチは2月8日チャンピオン西城正三と挑戦者ゴドフリー・ステーブンスとの間で行なわれました。

試合はKO勝を意識した西城が最初から左右のパンチを繰出し前進、しかしそベテランステーブンスも巧みなブロッキングで西城の攻撃をかわし、前半はやや凡戦に終始しました。しかし、若さに物言わす西城は荒いファイトながら着々とポイントをあげ、試合の主導権を握りました。

最終ラウンド一気にスパートした西城は遂にステーブンスから初のダウンを奪い、勝利を決定的なものとしました。それにしてもステーブンスの健闘に3度目の王座は防衛したものの西城には不本意なタイトルマッチでした。